

# 石川県

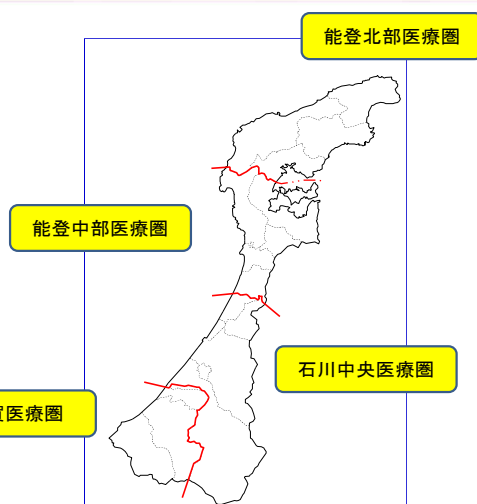
## あるべき医療提供体制を目指して

### 資料概要：

- 石川県では4つの医療圏があり、人口の半分以上が石川中央医療圏に集中している。  
県全体で見ると、医師・看護師・病床数については、全国平均を上回っている。
- 公立病院等のプランについては、県全域から患者を受け入れている大学病院等は県全体の会議で協議を行い、医療圏ごとの会議にフィードバックし、それを踏まえてそれぞれの医療圏で協議を進める。
- 医療圏によっては役割分担が進みつつあるところもあり、今後、医療圏ごとのあるべき医療提供体制を目指し、医療機関の自主的な取組につなげていく。

# 1 都道府県及び構想区域の基礎情報

## 石川県



構想区域	人口	市町村数	報告対象 病院数	公立 病院	公的 医療 機関 等	その他	報告 対象 有床 診療 所	医師数	人口10 万対
南加賀圏域	228,589	4	17	3	1	13	14	394	172.4
石川中央圏域	729,224	6	49	5	8	36	43	2,489	341.3
能登中部圏域	126,389	5	10	4	1	5	6	251	198.6
能登北部圏域	66,616	4	5	4	0	1	1	96	144.1
合 計	1,150,818	19	81	16	10	55	64	3,230	280.6

人口はH28.10.1現在

構想区域	平成28年度病床機能報告における病床数					2025年病床数の必要量				
	高度急性 期	急性期	回復期	慢性期	合計	高度急性 期	急性期	回復期	慢性期	合計
南加賀圏域	30	1,283	253	844	2,410	146	696	567	604	1,867
石川中央圏域	2,381	3,292	969	3,126	9,768	940	2,659	2,648	1,913	7,220
能登中部圏域	52	980	152	526	1,710	108	417	325	425	1,167
能登北部圏域	0	475	52	260	787	31	158	154	108	420
合 計	2,463	6,030	1,426	4,756	14,675	1,225	3,929	3,695	3,050	11,900

※H29.12月時点 必要量は医療機関所在地ベース 小数点第1位四捨五入のため、合計は一致しない

## 2 石川県の特徴

○本県は北陸地方の中部に位置し、東は富山県及び岐阜県に、南は福井県に接し、北は能登半島となつて日本海に突出している。地形は、南西から北東に向かって細長く、東西100.9km南北198.4km、海岸線は約580.9kmの延長を有し、現在金沢市をはじめ11市8町の計19市町からなる。

○2015年3月に北陸新幹線金沢開業 観光名所は兼六園ほか多数



2015.3 北陸新幹線金沢開業



金沢 兼六園ライトアップ



能登 白米（しろよね）の千枚田

○人口10万人あたりの

- ・医師数は 285.8 (全国11位)
- ・看護師は 1170.8 (全国 6位)
- ・病院病床数は1593.7 (全国13位)



加賀 鶴仙溪

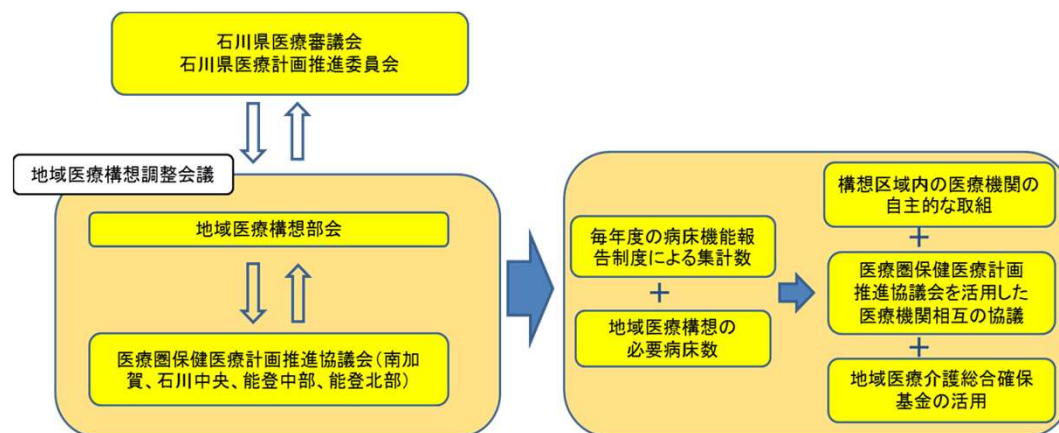
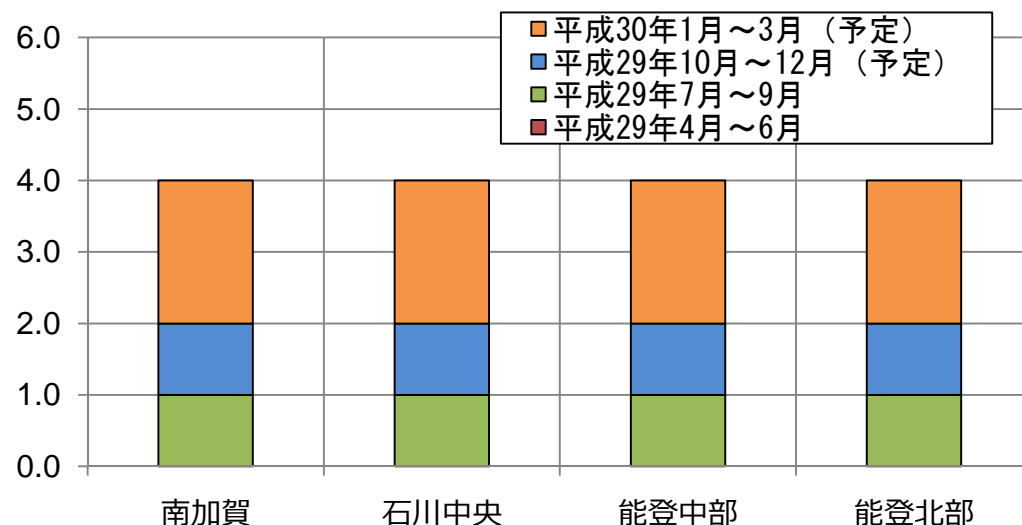


日本三名山 白山

○縦に長い県となっており、石川中央医療圏に人口や医師・看護師・病院が集中

### 3 地域医療構想調整会議における議論の進捗状況

#### ■ 地域医療構想調整会議の開催状況 (平成29年12月末時点)



#### ■ 意見交換会等の取組例

本県では、県単位で行う地域医療構想部会と各2次医療圏単位で行う保健医療計画推進協議会を地域医療構想調整会議に位置づけ、平成29年度においては計4回（地域医療構想部会2回、保健医療計画推進協議会2回×4医療圏）開催する予定。

新公立病院改革プランや公的医療機関等2025プランに関する議論については、県全体から患者が受診している大学病院や県立中央病院など4病院については、地域医療構想部会において検討し、それ以外の公立病院・公的病院については、2次医療圏の調整会議において検討を始めている。

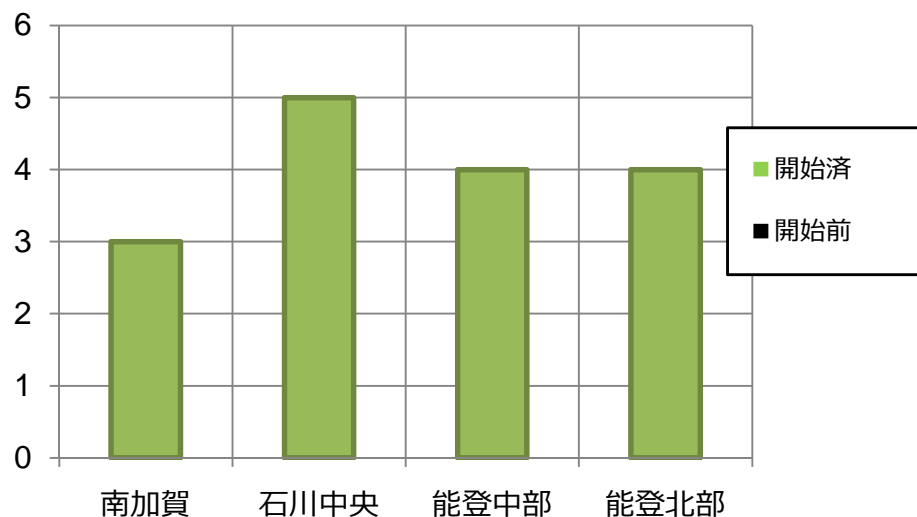
また、調整会議とは別に、県医師会・病院協会の共催により、幅広い病院関係者や医師会関係者等が参加する意見交換会を各2次医療圏において開催するほか、県医師会・病院協会など関係団体の主催する各種会合や研修会など様々な機会をとらえて、地域医療構想に関する意見交換を行っている。

(南加賀) 12病院参加 (石川中央) 37病院参加 (能登中部・北部) 10病院参加

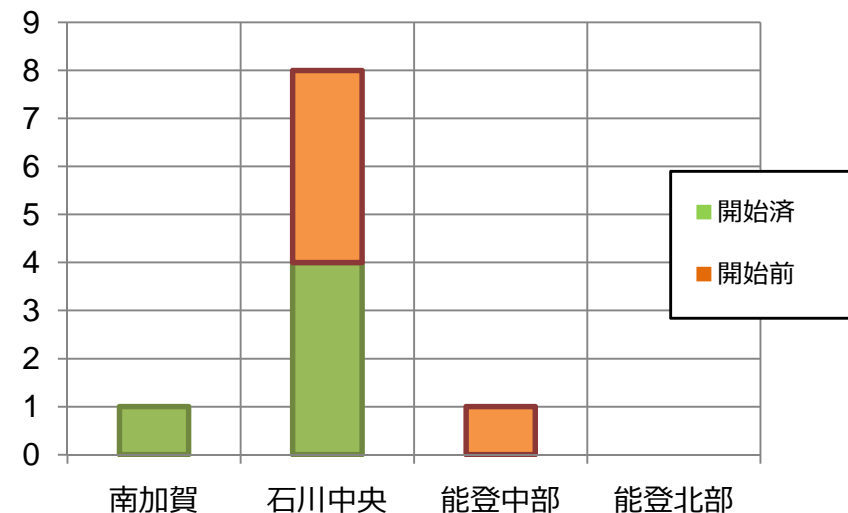
さらに、第7期介護保険事業計画と第7次医療計画（地域医療構想を含む）の整合性を図るために、調整会議とは別に市町職員等を対象とした説明会を開催している。

## 4 新公立病院改革プラン及び公的医療機関等2025プランの進捗状況

- 構想区域ごとの新公立病院改革プランについて、調整会議での議論を開始した病院数／策定対象病院数



- 構想区域ごとの公的医療機関等2025プランについて、調整会議での議論を開始した病院数／策定対象病院数（1～3月で全て議論予定）



### ■ プランの活用について

#### ○ 協議の進め方及び活用方法

- ・ プランを策定した各公立病院、公的医療機関等は調整会議における意見を踏まえ、今後の方向性を検討
- ・ その他の医療機関については、公立・公的の動向を踏まえ、病床の機能について検討

#### ○ スケジュール

- |       |       |                |
|-------|-------|----------------|
| 平成29年 | 7月    | 地域医療構想部会       |
|       | 10月   | 医療圏保健医療計画推進協議会 |
| 平成30年 | 1月    | 地域医療構想部会       |
|       | 2月～3月 | 医療圏保健医療計画推進協議会 |



## 5、6 地域医療構想の達成に向けた独自の工夫、医療機関の再編・統合の参考事例

### ● 回復期病床への転換支援（地域包括ケアに積極的に参画する病院の確保）

県内には、患者の急変時の受入などに地域包括ケア病棟を活用している病院や、多職種チームを設けてリハビリや在宅復帰支援に積極的に取り組む病院など、地域包括ケア病棟を設けて積極的に地域包括ケアに参画しているモデル的な病院がある。

県では、関係団体と連携し、地域包括ケア病棟・病床に転換した病院の取組を紹介頂く研修会を開催するとともに、平成26年度から、**地域包括ケア病棟・病床への転換を行う病院に対する支援策**を講じており、現在、**地域包括ケア病棟・病床は、31病院（1,145床）**（H29.6）となっている。

### ● 認知症対応の向上

本県では、医療機関における認知症対応力を向上させるために、**認知症サポート医の資格取得の支援**や、**郡市医師会単位における認知症事例検討会の開催**、**県立看護大学における認知症認定看護師の養成課程の設置**（H29～）など、人材養成に取り組んでいる。また、平成28年度から**認知症診療に積極的に取り組む病院に対する施設・設備の整備に対する補助**を行っている。

県内には、現在、**認知症ケアチームを設置している病院は40病院**（H29）あり、各病院において、認知症を呈する入院患者向けに院内デイケアが開催されるなど、様々な取り組みが進められている。

## 7 都道府県としての来年度への抱負

### 地域医療構想調整会議の運営について

地域医療構想調整会議については、年4回開催し、地域の医療・介護を支える医療機関などが地域の課題を共有し、あるべき医療提供体制の実現に向けた協議を行うとともに、その協議結果を踏まえ、各医療機関の自主的な取組につなげていく。

### 医療機関の機能分化・連携の支援について

地域医療構想調整会議等の議論を踏まえ、回復期機能を担っていく医療機関に対し、医療介護総合確保基金等を活用して、支援を行うこととしている。

### 介護施設・在宅医療等の整備について

介護施設・在宅医療等の整備については、介護関係課とも連携を取りながら、医療と介護の連携を密にし、必要な施設の整備や在宅医療等の確保に努めていくこととする。